

(お 知 ら せ)

2026年7月24日
中国電力株式会社

坂町漁業協同組合との石炭灰製品（Hi ビーズ®）を活用した カキ養殖場における底質改善実証事業の実施について ～カキへい死対策としての有効性を検証～

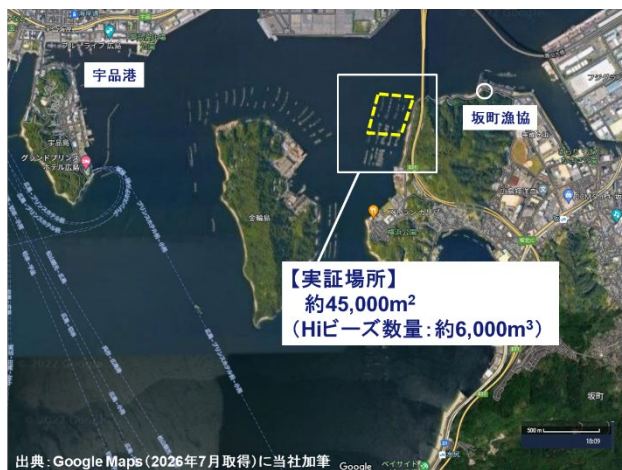
当社は、坂町漁業協同組合（代表理事組合長：長船 幹成）と共同で、当社石炭灰製品（以下「Hi ビーズ®※1」）を活用した「坂町カキ養殖場における底質改善事業」を本日から開始しましたので、お知らせします。

2025 年度に広島県全域で発生したカキのへい死では、その原因の一つとして海底に堆積した有機物などに起因する底質環境の悪化（貧酸素化）が挙げられています。本事業は、Hi ビーズ®の活用を通じた底質改善によるカキ養殖環境の向上を図ることを目的に、広島県が進めるかき生産改善実証事業※2を活用して実施するもので、事業費の一部に広島県の補助金を充当し、本日から2027年2月末まで行います。

当社が提供する Hi ビーズ®約 6,000m³を、坂町漁業協同組合が本年9月以降に実証場所へ敷設し、両者で底質調査やカキの生育状況のモニタリングを行うことで、カキのへい死対策としての有効性を検証します。

本事業を通じて得られた成果については、Hi ビーズ®の活用によるへい死対策を含めた今後のカキ養殖環境の向上や、沿岸域の環境保全に向けた取り組みに活用してまいります。

当社は、中国地域を基盤とする事業者として、石炭灰の有効活用による循環型社会の形成を推進するとともに、地域の皆さまと連携した環境保全活動を通じて、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。



実証場所



石炭灰製品（Hi ビーズ®）

- ※1 石炭灰のフライアッシュに少量のセメントと水を混ぜて、直径約 10～20mm の粒状に固めた造粒物。海底に堆積したプランクトンの死骸などの有機物を覆うように敷設することで、微生物が有機物を分解する過程で生成される硫化水素の海水への溶出およびその酸化に伴う酸素消費を抑制できるため、海底付近の貧酸素化の改善が期待される。
- ※2 広島県は、カキのへい死対策の一環として養殖方法の改善や底質改善等の実証事業を支援している。

以 上